

そこで、学校のみんが楽になるように、給食着をすずしくしたらいいんじゃないかと思いました。なので、私は「みんなが暑くならない給食着」を考えました。今までの給食着は、ボタンの数が多いのでしめきってしまつて、まるでこたつの中にいるように、暑いのです。また、手のゴムがゆるゆるなのでうでまくりしても、すずぎに下がってしまいま^す。ほかにも、みんなが使つているので、サイズが合つていないのでははないのかと思ひました。そこで私が考えた給食着は、四つの工夫があります。まず一つ目は、ボタンの数を減らして、すきまをつくるしめきらないという^うこと^です。二つ目は、自分の身長と合つた給食着を各自で買うという^うこと^です。三つ目は、素材をうすくします。四つ目は、色を、みず色や青、などの、さわやかな色にする^こと^です。風リンのように、見るだけで、すずしくなる色にします。

この給食着があつたら、みんなが給食当番

を
す
る
の
が
、
楽
に
な
り
、
い
や
だ
な
と
思
う
人
が
少
な
く
な
る
と
思
い
ま
す
。

いままて

暑いきゅう
しやくぎ



私が考えた
もの

すずしい
きゅうしやくぎ

